

## 平成 25 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 25 年度に実施する石見銀山基金事業の認定事業について、候補事業（要望事業）の選定を行った。

今回、審査の対象となったのは、4 月～5 月に受付をした 4 団体から要望のあった 4 つの事業で、審査の結果、4 事業すべてが石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 認定事業リスト
- ・ 認定事業審査表

## ■ 認定事業リスト

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を伝える活動	大田市立大森小学校	大森小学校銀山学習	<p>①事前学習として、石見銀山学校の取り組みを考える</p> <p>②現地では、銀山おすすめガイドコース(パートⅡ)を作り、銀山ガイドの方から学び、人や自然にやさしい石見銀山について調べ、石見銀山資料館館長さんの話を聞く</p> <p>③事後学習として、地域の方へ情報発信(学習発表会)</p>	<p>人や自然にやさしい石見銀山の普遍的な価値についてふれながら、共同への誇りと愛着を育むことができる。</p> <p>子どもの視点に立って石見銀山の価値あるものや豊かなものを再発見し、自分たちの思いを実現する石見銀山学校の活動に取り組むことで、意欲的・主体的に課題を解決していく態度を育てることができる。</p> <p>発見・収集した情報を処理しまとめる活動をしたり、わかりやすく伝える活動などをしたりすることを通して、思考力・判断力・表現力を養うことができる。</p>
	大田市立川合小学校	川合小学校銀山学習	<p>①事前学習として、パンフレットやDVDをもとに石見銀山の歴史や石見銀山遺跡の価値について知り、現地学習で調べる課題をみつける</p> <p>②現地学習では、世界遺産センターで石見銀山について調べ、大久保間歩や大森町並みを見学</p> <p>③事後学習として、石見銀山についてまとめる</p>	<p>路頭掘りから始まる採掘方法の変化、灰吹法による精錬、銀の輸送方法やルート、銀の世界での流通などの知識の習得。</p> <p>間歩見学等を通じた現地学習による体験的理解の促進、興味関心の高まり、課題解決能力の向上。</p> <p>ふるさとへのすばらしさの再認識、石見銀山の歴史的、文化的価値の認識と郷土への誇りと愛着の醸成。</p> <p>情報収集能力、情報判断能力、情報発信能力の向上。</p>
	大田市立長久小学校	長久小学校銀山学習	<p>事前学習として、3人の武将(信長・秀吉・家康)と石見銀山との関わりについて学ぶ</p> <p>②現地学習では、世界遺産センターで石見銀山の歴史的価値と当時の町の様子や銀のできる工程を調べ、大久保間歩や岩盤遺跡の見学を通して、銀の精錬作業に携わった当時の人々の苦労を知る</p> <p>③事後学習として、世界遺産・石見銀山遺跡の価値についてまとめる</p>	<p>石見銀山遺跡について学習することを通して、ふるさとへの愛着と誇りを持つことができる。</p> <p>見学調査活動や体験活動を通して石見銀山遺跡の歴史的価値を調べ、自分なりの表現でまとめる学習活動を通して、確かな学力を育てることができる。</p>

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を伝える活動	大田市立仁摩中学校	仁摩中学校銀山学習	<p>調べ学習として、学習内容の選定・レポート作り</p> <p>②現地学習では、大久保間歩や釜屋間歩の見学</p> <p>③新聞作りや講演会を開催</p>	<p>石見銀山の歴史、価値についての理解を深められる。</p> <p>体験活動やフィールドワークを通して、実際に体験すること、実物を見て調べることの重要さに気づかせることができる。</p> <p>調べ学習やレポート作りを通して、情報収集能力や表現能力を養うことができる。</p> <p>石見銀山についての学習を通して、ふるさとを愛し、ふるさとを大切にしようとする態度を育てることができる。</p>

■ 認定事業審査表

項目	申請団体	事業名	採否 採 択 ○ 不採 択 ×
石見銀山を 伝える活動	大田市立大森小学校	大森小学校銀山学習	○
	大田市立川合小学校	川合小学校銀山学習	○
	大田市立長久小学校	長久小学校銀山学習	○
	大田市立仁摩中学校	仁摩中学校銀山学習	○

## 平成 25 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 25 年度に実施する石見銀山基金事業の認定事業について、候補事業（要望事業）の選定を行った。

今回、審査の対象となったのは、5月に受付をした3団体から要望のあった3つの事業で、審査の結果、3事業すべてが石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 認定事業リスト
- ・ 認定事業審査表

## ■ 認定事業リスト

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を守る活動	城上神社	城上神社本殿、随神社、瑞垣 保全修理工事	大田市大森銀山伝統的建造物群保存地区内に位置する城上神社本殿、随神社、瑞垣の保存のため修理工事を実施する	大森地域の氏神である城上神社が有する地域的位置付けや歴史的価値についてはすでに広く知られたものであるが、城上神社の境内地は、大森銀山地区の北の入口にあたる宮ノ前地区の景観的特徴を形成する重要な環境要素でもある。今回、城上神社社殿の保存修理によって約200年の間守られてきた社殿と景観を維持・保全し、次世代へ良好に継承することができるものと考えられる。また社殿を継承することは伝統的な神事や祭祀を守ることにもつながり、少子高齢化の進む地域の氏神を維持するという活動を通して、地域に対する愛着の向上と誇りの醸成を図ることも期待される。 今回、地域を代表する社殿の修理に石見銀山基金が効果的に活用できることで、石見銀山の歴史的資源と伝統文化を守り、地域住民の活力とその共益に資する事業の本分に沿う内容として、その効果は高いと考えられる。
	井戸神社	井戸神社本殿保存修理工事	大田市大森銀山伝統的建造物群保存地区内に位置する井戸神社本殿の保存のため修理工事を実施する	県道沿いの山裾の高台に位置し、大森地区内の広範囲から望むことができる点において、貴重な景観要素として位置づけられる。また、大森の歴史上欠かすことのできない業績を残した井戸平左衛門を祀る神社として、石見銀山の歴史や文化の理解の上でも重要である。井戸神社社殿を保存修理することは、建造物としての価値を維持することはもとより、伝統行事の継承や少子高齢化の進む当地域に対して、石見銀山の文化的価値を高めるためにも効果的であると考えられる。 今回、大森地域に根ざした社殿の修理に石見銀山基金が効果的に活用できることで、石見銀山の歴史的資源と伝統文化を守り、地域住民の活力とその共益に資する事業の本分に沿う内容として、その効果が期待できる。

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を守る活動	宗教法人西本寺	西本寺山門保存修理工事	大田市大森銀山伝統的建造物群保存地区に位置する大田市指定文化財西本寺山門の保存のため、修理工事を実施する。	<p>西本寺の境内地は沿道に立地し、銀山柵内にある下河原地区の景観的特徴を形成する重要な環境要素である。また、銀山柵内の建造物で最古の可能性が高く、山吹城・龍昌寺といった銀山との関係深い由緒をもつ遺構として、極めて貴重である。今回の保存修理事業による半解体工事に伴い、石見銀山遺跡の歴史性を追求することにもなりその学術的意義は高い。本事業によって地域に対する愛着の向上と誇りの醸成を図ることも期待される。</p> <p>今回、地域を代表する西本寺山門の修理に石見銀山基金が効果的に活用できることで、石見銀山の歴史的資源と伝統文化を守り、地域住民の活力とその共益に資する事業の本分に沿う内容として、その効果は高いと考えられる。</p>

## ■ 認定事業審査表

項目	申請団体	事業名	採否 採 択 ○ 不採 択 ×
石見銀山を 守る活動	城上神社	城上神社本殿、随神社、瑞垣 保全修理工事	○ (条件付き)
	井戸神社	井戸神社本殿保存修理工事	○ (条件付き)
	宗教法人西本寺	西本寺山門保存修理工事	○ (条件付き)

### ※条件については下記の通りである

- ・可能な限り、修理・修景工事の期間、完了後において「石見銀山基金を活用した事業」であることを表示していただくこと。
- ・修理・修景工事の実施状況、及び完了時の竣工状況について、NPO 法人石見銀山協働会議の HP への写真掲載等について了承いただくこと。
- ・平成26年5月開催予定の平成25年度石見銀山基金事業の報告会で事業完了報告をされること。

## 平成 25 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 25 年度に実施する石見銀山基金事業の認定事業について、候補事業（要望事業）の選定を行った。

今回、審査の対象となったのは、7月に受付をした1団体から要望のあった1つの事業で、審査の結果、1事業が石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 認定事業リスト
- ・ 認定事業審査表

## ■ 認定事業リスト

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を伝える活動	大田市立第一中学校	大田市立第一中学校銀山学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>①石見銀山の概要を学び、現地学習のコースを決定し、回る施設等について調べる</li> <li>②各自が設定したコースにそって取材活動をし、班ごとにクイズを作成する</li> <li>③クイズ大会の開催し、銀山学習の感想を発表する</li> </ul>	<p>自分たちのふるさとに誇りと愛着をもたせることができる。</p> <p>身近な地域の歴史遺産についてより深い知識を習得させることができる。</p> <p>課題を設定して調べることで、興味関心をもたせ、個性の伸張を図ることができる。</p> <p>体験活動、取材活動を行うことで、自ら学ぶ意欲を高めさせることができる。</p> <p>自然愛護、文化遺産の保全などの意識を高めさせることができる。</p>

■ 認定事業審査表

項目	申請団体	事業名	採否 採 択 ○ 不採 択 ×
石見銀山を伝える活動	大田市立第一中学校	大田市立第一中学校銀山学習	○

## 平成 25 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 25 年度に実施する石見銀山基金事業の認定事業について、候補事業（要望事業）の選定を行った。

今回、審査の対象となったのは、8月に受付をした3団体から要望のあった3つの事業で、審査の結果、3事業が石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 認定事業リスト
- ・ 認定事業審査表

■ 認定事業リスト

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を伝える活動	大田市立久手小学校	久手小学校銀山学習	①戦国時代の学習時に銀山攻防を取り上げ、DVDを見せて導入とする ②9～10月に石見銀山についての資料集め新聞切り抜きなどを行う ③各自課題設定をし、しえ阿部学習を行う ④世界遺産センター、石見銀山遺跡見学 ⑤成果をまとめ発表を行う	知識の習得。 体験活動を通しての興味関心の醸成。 石見銀山に対する意識の変革。 郷土への誇りと愛着をもつ。 今後の保護・保存・活用への意欲付け。
	大田市立第三中学校	大田市立第三中学校銀山学習	①学校図書館で調べ物学習 ②事前学習会 ③ふるさと学習「大森探検」 ④学習のまとめ ⑤文化祭での発表	生徒が石見銀山の文化的価値を一層深く理解し、次世代へ継承するための意識を高めることができる。 ふるさとへの愛着を増し、「石見銀山」の存在を広くPRする人材を育てることができる。 地域の人々と交流したり、仲間で学習したりすることによって、地域の課題発見力、問題解決力や表現力を身につけることができる。 地域にある貴重な世界遺産の保全に対する意欲を高めることができる。
	大田市立朝波小学校	朝波小学校銀山学習	①事前学習では、「知ろう！探ろう！石見銀山」のパンフレットやDVDから石見銀山の歴史について知り、現地学習での課題を見つける ②現地学習として、石見銀山世界遺産センターと大久保間歩に行き、石見銀山について質問したり、見学したりすることで、問題を解決する	学習への興味・関心を高める 体験的な学習を取り入れることにより、児童が主体的に学ぼうとする意欲を高めることができる。 知識の習得 日本師の基礎を学習し始めたこの時期に、石見銀山の歴史的価値を学ぶことにより、戦国時代から江戸時代にかけての歴史を、より身近なものとして学ぶことができる。 郷土愛 世界遺産としての石見銀山の価値を理解することにより、ふるさとの誇りと愛着を持つことができる。 集団行動の訓練 校外に出て体験的な学習をすることにより、集団行動の規律について学ぶことができる。世界遺産センターでの学習やガイドの説明を聞く等の体験は、公共施設での行動や他者との接し方を学ぶいい機会となる。

■ 認定事業審査表

項目	申請団体	事業名	採否 採 択 ○ 不採 択 ×
石見銀山を伝える活動	大田市立久手小学校	久手小校銀山学習	○
	大田市立第三中学校	大田市立第三中学校銀山学習	○
	大田市立朝波小学校	朝波小学校銀山学習	○

## 平成 25 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 25 年度に実施する石見銀山基金事業の認定事業について、候補事業（要望事業）の選定を行った。

今回、審査の対象となったのは、9月に受付をした1団体から要望のあった1つの事業で、審査の結果、1事業すべてが石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 認定事業リスト
- ・ 認定事業審査表

## ■ 認定事業リスト

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を守る活動	宗教法人西楽寺	西楽寺本堂及び鐘楼保存修理工事	大田市温泉津伝統的建造物群保存地区に位置する西楽寺本堂、鐘楼の保存のため修理工事を実施する	<p>西楽寺の境内地は、温泉津地区の中歐に位置し、町並み景観において重要な環境要素である。境内のなかでも本堂はひととき目立つ中心的な建物であり、鐘楼も含め歴史的な環境を伝える上で重要な建物といえる。この度の保存修理によって、これまで守られてきた境内地の景観を維持・保全し、次世代へ良好に継承することができる。また、これらの建物を継承することは、温泉津に伝わる伝統的な行事を守ることにもつながる。少子高齢化の進む地域の寺院を維持するという活動を通して地域に対する愛着の向上と誇りの醸成を図ることも期待される。</p> <p>今回、温泉津西楽寺本堂及び鐘楼の修理に石見銀山基金が効果的に活用できることで、石見銀山の歴史的資源と伝統文化を守り、地域住民の活力とその共益に資する事業の本分に沿う内容として、その効果が期待できる。</p>

## ■ 認定事業審査表

項目	申請団体	事業名	採否 採 択 ○ 不採 択 ×
石見銀山を 守る活動	宗教法人西楽寺	西楽寺本堂及び鐘楼保存修理工事	○ (条件付き)

### ※条件については下記の通りである

- ・可能な限り、修理・修景工事の期間、完了後において「石見銀山基金を活用した事業」であることを表示していただくこと。
- ・修理・修景工事の実施状況、及び完了時の竣工状況について、NPO 法人石見銀山協働会議の HP への写真掲載等について了承いただくこと。
- ・平成26年5月開催予定の平成25年度石見銀山基金事業の報告会で事業完了報告をされること。

## 平成 25 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 25 年度に実施する石見銀山基金事業の認定事業について、候補事業（要望事業）の選定を行った。

今回、審査の対象となったのは、10 月に受付をした 2 団体から要望のあった 2 つの事業で、審査の結果、2 事業すべてが石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 認定事業リスト
- ・ 認定事業審査表

## ■ 認定事業リスト

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を伝える活動	大田市立温泉津小学校	温泉津小学校銀山学習	<p>①課題設定では、石見銀山の価値をパンフレットなどから石見銀山の歴史家価値について理解し、課題を見つける</p> <p>②現地学習として、課題追求を温泉津の町並みや仙山の構造(大久保間歩、釜屋間歩)と町並みを見学し、どうして世界遺産なのか考える</p> <p>③世界遺産ワークショップとして、筑波大学の大学院生とともに石見銀山と環境問題について考える</p> <p>④まとめとして、世界遺産の価値をまとめ、発信する</p>	<p>知識の習得。</p> <p>体験活動を通すことにより、実感として理解。</p> <p>興味・関心の醸成。</p> <p>ふるさとへの誇りと愛着。</p> <p>ひと・もの・ことにかかわることで、自分の生き方を考える。</p>
	大田市立五十猛小学校	五十猛小学校銀山学習	<p>①石見銀山ガイドの会の方の説明を聞きながら大森の町並みを見学し、当時の様子を想像する</p> <p>②街並み見学後、復路にて五十猛町内の「鉛山」ふもとに立ち寄り、当時銀で使う鉛が五十猛町内でも採掘されていたことの説明を受ける</p>	<p>石見銀山の歴史、価値についての理解を深められる。</p> <p>世界的に価値のある石見銀山遺跡を知ることとおし、郷土への誇りと愛着が生まれる。</p> <p>石見銀山遺跡の調査をおし、調査活動の技能を高められる。</p> <p>学習に関わって、たくさんの人との関わりがもて、コミュニケーション能力を高められる。</p>

■ 認定事業審査表

項目	申請団体	事業名	採否 採 択 ○ 不採択 ×
石見銀山を 伝える活動	大田市立温泉津小学校	温泉津小学校銀山学習	○
	大田市立五十猛小学校	五十猛小学校銀山学習	○

## 平成 25 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 25 年度に実施する石見銀山基金事業の認定事業について、候補事業（要望事業）の選定を行った。

今回、審査の対象となったのは、2月～3月に受付をした3団体から要望のあった3つの事業で、審査の結果、3事業すべてが石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 認定事業リスト
- ・ 認定事業審査表

## ■ 認定事業リスト

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を守る活動	祖式町元気なまちづくりの会	「矢滝城跡」誘導路整備事業	6月と8月に町部から矢滝城跡登山口駐車場までの旧街道沿線及び登山口駐車場から矢滝城跡までの登山道の草刈・ゴミ拾い	世界遺産石見銀山遺跡のコアである「矢滝城跡」は634メートルの標高があり、大森の町並み・仙ノ山・山吹城跡を眼下に、遠くは温泉津沖泊・湯里港・三瓶山・中国山脈を望むことのできる絶景のビューポイントとなっている。四季折々の自然散策に訪れる観光客やトレッキングを楽しむアウトドア派の皆さんから手軽に探訪できる山として親しまれており、「矢滝城跡」に至る旧街道(県道)と登山道の環境整備をすることで、さらに多くの来訪者を温かく迎えることができるとともに、地域資源の保全に力を注ぐことで遺跡の価値・魅力のアップにつながり、ふるさと愛の醸成に寄与することが期待できる。 少子高齢化が進行する当町においては、活動スタッフの確保は喫急の課題であることから環境保全活動には地域住民のみならず、町外からのボランティアを要請することとしている。そのことで石見銀山遺跡「矢滝城跡」に対する注目度・興味・関心を高めるとともに、町外の方との交流を活発にすることでスタッフの確保につながり、保存活動が持続的に発展することを期待する。
石見銀山を伝える活動	大田市立仁摩小学校	仁摩小学校銀山学習	①世界遺産センターや大久保間歩などを見学 ②石見銀山と仁摩町との関わりについて調べる ③調査結果のまとめをし、学習発表会に学習の成果を発表する	世界遺産に指定された意義や経緯、仁摩町と銀山との関わり、石見銀山をより身近なものとして感じることができるようになる。 見学や体験活動、調査活動等を通して石見銀山についての理解を深めることができる。 学習を通して、石見銀山が当時の社会や政治、人々の生活や暮らしにどのような影響をもたらしたのか、探求することができるようになる。 調べたことをまとめ発信していくことにより、地域内外の人々に石見銀山をより広く知ってもらうことができる。 自分たちが生まれ育った地域にある世界遺産や地域遺産をより大切にしていこうとする気持ちを育てることができる。また、郷土への誇りと愛着を持つことができるようになる。

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を伝える活動	大田市立第二中学校	大田市立第二中学校銀山学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事前学習として、講話「石見銀山について学ぶ」を聴く</li> <li>②班ごとにテーマを決め、調べ学習を行い、学習内容の発表を行う</li> <li>③現地での見学や調査活動、体験活動を行う。体験して感じたことや学んだことを新聞にまとめる</li> </ul>	資料や文献だけで知識や理解を高めるだけでなく、実際に見学・調査活動を行うことにより、石見銀山の歴史や文化の知識や理解がより深まる。実際に石見銀山の素晴らしさを体験することにより、ふるさとへの関心が高まり、ふるさとを愛する心が育つ。ふるさとを見直し、世界遺産である銀山をPRしていこうとする姿勢を育てる。

■ 認定事業審査表

項目	申請団体	事業名	採否 採 択 ○ 不採 択 ×
石見銀山を 守る活動	祖式町元気なまちづく りの会	「矢滝城跡」誘導路整備事業	○
石見銀山を 伝える活動	大田市立仁摩小学校	仁摩小学校銀山学習	○
	大田市立第二中学校	大田市立第二中学校銀山学習	○

## 平成 25 年度石見銀山基金事業の選定結果について

平成 25 年度に実施する石見銀山基金事業の認定事業について、候補事業（要望事業）の選定を行った。

今回、審査の対象となったのは、4 月～5 月に受付をした 4 団体から要望のあった 4 つの事業で、審査の結果、4 事業すべてが石見銀山基金事業として選定された。

以下、関連資料

- ・ 認定事業リスト
- ・ 認定事業審査表

## ■ 認定事業リスト

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を伝える活動	大田市立大森小学校	大森小学校銀山学習	<p>①事前学習として、石見銀山学校の取り組みを考える</p> <p>②現地では、銀山おすすめガイドコース(パートⅡ)を作り、銀山ガイドの方から学び、人や自然にやさしい石見銀山について調べ、石見銀山資料館館長さんの話を聞く</p> <p>③事後学習として、地域の方へ情報発信(学習発表会)</p>	<p>人や自然にやさしい石見銀山の普遍的な価値についてふれながら、共同への誇りと愛着を育むことができる。</p> <p>子どもの視点に立って石見銀山の価値あるものや豊かなものを再発見し、自分たちの思いを実現する石見銀山学校の活動に取り組むことで、意欲的・主体的に課題を解決していく態度を育てることができる。</p> <p>発見・収集した情報を処理しまとめる活動をしたり、わかりやすく伝える活動などをしたりすることを通して、思考力・判断力・表現力を養うことができる。</p>
	大田市立川合小学校	川合小学校銀山学習	<p>①事前学習として、パンフレットやDVDをもとに石見銀山の歴史や石見銀山遺跡の価値について知り、現地学習で調べる課題をみつける</p> <p>②現地学習では、世界遺産センターで石見銀山について調べ、大久保間歩や大森町並みを見学</p> <p>③事後学習として、石見銀山についてまとめる</p>	<p>路頭掘りから始まる採掘方法の変化、灰吹法による精錬、銀の輸送方法やルート、銀の世界での流通などの知識の習得。</p> <p>間歩見学等を通じた現地学習による体験的理解の促進、興味関心の高まり、課題解決能力の向上。</p> <p>ふるさとへのすばらしさの再認識、石見銀山の歴史的、文化的価値の認識と郷土への誇りと愛着の醸成。</p> <p>情報収集能力、情報判断能力、情報発信能力の向上。</p>
	大田市立長久小学校	長久小学校銀山学習	<p>事前学習として、3人の武将(信長・秀吉・家康)と石見銀山との関わりについて学ぶ</p> <p>②現地学習では、世界遺産センターで石見銀山の歴史的価値と当時の町の様子や銀のできる工程を調べ、大久保間歩や岩盤遺跡の見学を通して、銀の精錬作業に携わった当時の人々の苦労を知る</p> <p>③事後学習として、世界遺産・石見銀山遺跡の価値についてまとめる</p>	<p>石見銀山遺跡について学習することを通して、ふるさとへの愛着と誇りを持つことができる。</p> <p>見学調査活動や体験活動を通して石見銀山遺跡の歴史的価値を調べ、自分なりの表現でまとめる学習活動を通して、確かな学力を育てることができる。</p>

項目	申請団体名	事業名	事業概要	申請団体が目指す効果(目的)
石見銀山を伝える活動	大田市立仁摩中学校	仁摩中学校銀山学習	<p>調べ学習として、学習内容の選定・レポート作り</p> <p>②現地学習では、大久保間歩や釜屋間歩の見学</p> <p>③新聞作りや講演会を開催</p>	<p>石見銀山の歴史、価値についての理解を深められる。</p> <p>体験活動やフィールドワークを通して、実際に体験すること、実物を見て調べることの重要さに気づかせることができる。</p> <p>調べ学習やレポート作りを通して、情報収集能力や表現能力を養うことができる。</p> <p>石見銀山についての学習を通して、ふるさとを愛し、ふるさとを大切にしようとする態度を育てることができる。</p>

■ 認定事業審査表

項目	申請団体	事業名	採否 採 択 ○ 不採 択 ×
石見銀山を 伝える活動	大田市立大森小学校	大森小学校銀山学習	○
	大田市立川合小学校	川合小学校銀山学習	○
	大田市立長久小学校	長久小学校銀山学習	○
	大田市立仁摩中学校	仁摩中学校銀山学習	○